



Photo / Nakahodo Choji

第31回

かきがわ

とうろう

なが

柿川灯籠流し

～未来へ繋ぐ、魅霊の灯～

2014年 8月1日 金 19時より
会場／柿川一之橋 (旭町) ～ 追廻橋 (柏町)

ご挨拶

わたし す ながおか しょうわ だいくしゅう
 私たちの住むまち長岡は、昭和20年8月1日の大空襲により、
 いちや おお とうと うば にいがたけんないゆいつ せんさい とし
 一夜にして多くの尊いのちを奪われた新潟県内唯一の戦災都市です。
 せんそう わたし せだい ちい こ
 戦争は、私たちの世代はもとより、小さなお子さんのおじいちゃん、おばあちゃんでも
 けいけん な とお むかし はなし わたし あ まえ よう へいわ ひび く いま
 経験の無い遠い昔の話となりました。私たちは、当たり前の様に平和な日々暮らし、
 そふぼ ふ ぼ かた つ れきし に ど せんそう ひげき く かえ おも
 祖父母、父母から語り継がれた歴史と、二度と戦争の悲劇を繰り返してはならないという想いを
 こうせい つた あらた へいわ とうと かた つ ため こんねんど とうろうなが きかく いた
 後世に伝え、改めて平和の尊さを語り継ぐ為に今年度も灯籠流しを企画致しました。
 とうろう あか せんさいじゆなんしや かたがた こんにち へいわ きず あ せんじん
 灯籠の灯りに、戦災殉難者の方々、今日の平和を築き上げてこられた先人たちへの
 あいとう ねん とも こうきゅうへいわ じつげん なに かんが なが いただ さいわ おも
 哀悼の念と共に、恒久平和実現のために何ができるのか考え流して頂けたら幸いに思います。

合掌

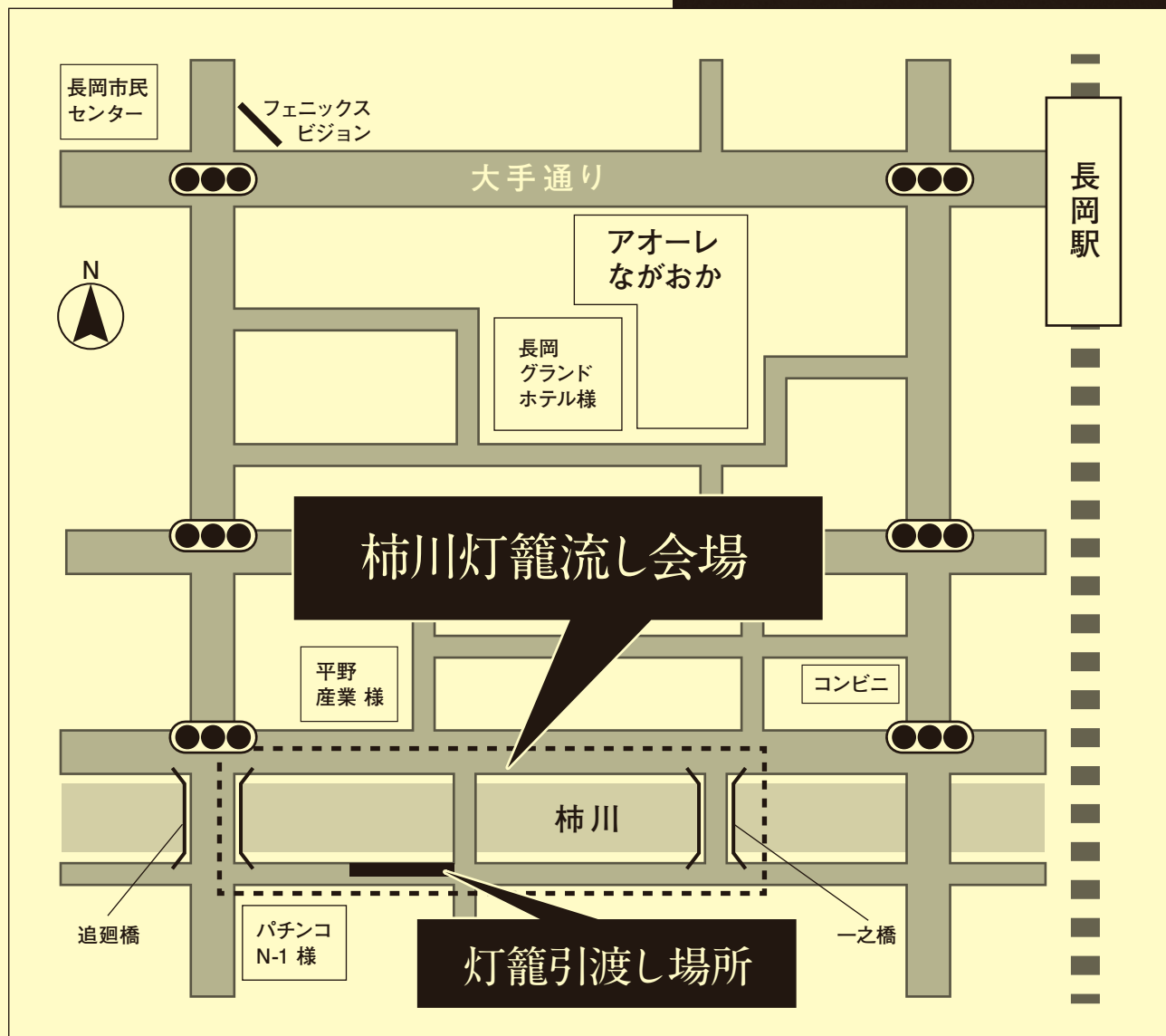
一般社団法人 長岡青年会議所
理事長 佐田 直人

柿川灯籠流しの背景と経緯

しょうわ ごご にいがたけんない ゆいいつ ながおか ぐん だい きぼ ぐしゅう う
 昭和20年8月1日午後10時30分、新潟県内で唯一、長岡はアメリカ軍によって大規模な空襲を受けました。
 ながおか そら おお つ ばくげき き へんたい まん ぜんぱつ およ しょういばくげきだん とうか ながおかし
 長岡の空を覆い尽くすB29爆撃機125機の編隊が、16万3千発(925ト)にも及ぶ焼夷爆撃弾を投下し、長岡市
 しがいち やく や のはら わ めい とうと いのち うしな
 (旧長岡市)は市街地の約80%が焼け野原となり、分かっているだけでも1,484名の尊い命が失われました。
 とく ひがい おお ぼうくごう ひらがたじんじや しんめいじんじや けいだい た ほのお
 特に被害の多かったのは、防空壕のあった平潟神社(表町)と神明神社(柳原町)の境内、そして立ちこめる炎から
 のが ひとびと と こ かきがわ な かたがた ぜんこうじ けいだい だび ふ
 逃れようと人々が飛び込んだ柿川でした。亡くなった方々は、善行寺(本町)の境内で荼毘に付され、
 みよ はんめい こいたい しょうふくじ まいそう
 身寄りの判明しない御遺体は昌福寺(四郎丸)に埋葬されました。
 よくとし せんさいじゆなんしや いれい もくてき しなのがわ とうろうなが はじ
 翌年から8月1日に、戦災殉難者の慰霊を目的として、信濃川で灯籠流しが始められましたが、
 とうろうかいしゅう こんなん こと かわ おせん けねん こと お しょうわ さいご ちゅうし
 灯籠回収が困難な事と川の汚染が懸念された事から、惜しまれながら昭和46年を最後に中止されました。
 こ しょうわ ながおかしぎかい けんないはつ ひかくへいわ とし せんげん かけつ こと とゑな
 その後、昭和59年に長岡市議会が県内初の「非核平和都市宣言」を可決した事に伴い、
 ながおかせいねんかいぎしょ よ か ふっかつ のぞ おお しみん ごきょうりよく
 長岡青年会議所の呼び掛けと復活を望む多くの市民からの御協力によって、
 かいじょう かきがわ うつ さいかい ことし だい かいめ むか こと
 会場を柿川に移して再開されました。そして、今年で第31回目を迎える事となりました。



柿川灯籠流し 会場案内図



8月1日(金)のスケジュール

17:00～	灯籠の引渡し
19:00～19:30	セレモニー
19:30～20:30	第31回柿川灯籠流し

献灯代（灯籠） 無料

※数に限りがございますので、お早めにお越しください。



主催／一般社団法人 長岡青年会議所
長岡市三和3丁目123-15 TEL.0258-34-0069
<http://www.nagaoka-jc.or.jp/>

